

## マンダラチャート

2022. 6. 14

「マンダラチャート」というものがある。花巻東高校野球部の佐々木洋監督が、大谷翔平選手に与えた目標達成シートとして有名である。

本校のSS先生は2年目も日々努力している。その姿勢は、昨年度の1年目から変わらない。1年目は初任者研修、2年目になると「2年次フォローアップ研修」がある。その中に、校長による1コマが設定されている。

SS先生に、マンダラチャートのことを聞いてみたら知っていた。大谷翔平選手が使ったことも知っていた。「では、やってみようか」ということで、1枚の紙を渡した。とはいっても、大谷選手のものには81個ものマスがある。それは難しいだろうということで、9個のマスにした。真ん中には「自分の成し遂げたいこと」を書く。大谷選手は「ドラ1 8球団」と書いている。

SS先生は、どんなことを書くのかと思ったら、しばらく考えてから「授業で勝負できる教員」と書いた。残りのマスには、「成し遂げたいことを達成するために必要な『要素』」や「行動目標」を書くようになる。

SS先生はというと、なかなか8つのマスが埋まらない。思うようにはいかない。そこで、私が30歳の頃に考えていたことをもとに、私も9つのマスを埋めてみた。スイスイいったが、最後の1マスが埋まらない。私のものを参考にして、SS先生もマスを埋めていった。

『楽しい』『できるようになった』を実感させる（バックワードデザイン）「生徒理解」「授業を見てもらう場」「コーチング」「力のある先生の授業を見たり、考え方、教育観にふれる」「授業規律」「英語以外の授業も見る」「自然な英語文法の使用場面を見つけるために、日常の中に教材を探す視点をもつ」と、8つのマスが埋まった。

二人で確認したことがある。我々は、9つのマスでも苦勞しているが、大谷選手は81ものマスを埋めている。このとき、大谷選手は高校1年生である。大谷選手はやっぱりすごい。大谷選手が考えた要素は、「体づくり」「コントロール」「キレ」「メンタル」「スピード160km/h」「人間性」「運」「変化球」である。

大谷選手の行動目標を見てみる。「運」のところには、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「道具を大切に使う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」とある。今の大谷選手そのものである。彼は、高校1年生のときから、このようなことをずっと続けていることがわかる。彼が、ゴミを拾う姿は、テレビでも放映されている。

昨年度の3月だったろうか。ある先生とSS先生の話題になった。そしたら、その先生が「SS先生は、大谷翔平ですから」とさりげなく言ったのである。もうしばらくしたら、SS先生の行動目標を聞いてみたい。楽しみである。